

実施日：令和6年5月15日・6月12日

研究テーマ：学校事務を「つかさどる」ための専門的な知見の体系的な追及



研究会の達成目標：

1. ケーススタディの作成（府費グループ）
2. 支出規則等の市の規則・規定、自治体財務の理解、財務事務に関する良好実践の共有（市費グループ）
3. 国や自治体の動向や今後の教育の在り方から学び、自身の実践に生かす

活動内容

◎NITSの校内研修シリーズNO52（前半）の視聴：動画の公費予算はいくらか？を柱に、予算書を見ながら、ディスカッションをした。

また、動画の感想の共有として、①今年度の自校の予算編成について、②予算の「見える化」のための工夫は？、③所属校のたくさんの財布→どのような事業予算がついていますか？、④今年度の学校経営の優先課題を意識した予算の重点事項、⑤予算運営の健全度はどのような尺度で評価していますか？という5つの議論の柱をもとに話し合い、動画で得た知識を所属校の取り組みにあてはめて考える機会をもった。

◎三認定のケーススタディ／財務規則・財務実践交流の2グループに分かれて、取り組みを進めた

【府費グループ】

ケーススタディの改訂。多岐にわたる事務手続きや、制度変更等、細部を確認しながら進めた。

【市費グループ】

経験の浅い学校事務職員2名から、予算委員会の取り組みを報告してもらった。

ランニングコストを減らすことで効果的に予算編成を行う手法を検討した。

また、R6年度学校事務提要の講読を行った。特に謝礼金の執行に関して、実際にあった事例で注意すべき点を確認した。

今後の活動

今後の予定は、ケーススタディの改訂、財務事務取扱要綱の講読、校務のDX化について、実践報告、施設見学です！